

ひびこれこうじつ

中日々是好日

～上柴中便り

『夢・志の実現』
自ら学ぶ生徒
心豊かな生徒
たくましい生徒

令和3年12月24日(金)
2学期最終号
埼玉県深谷市立上柴中学校
TEL 048-573-7438

冬休み中・1月の行事予定

12/25	土	新人兼県民大会地区大会(ラグビー、女子バレー、男子卓球)	13	木	登校指導日
26	日	新人兼県民大会地区大会(女子卓球)	14	金	生徒会専門委員会
27	月	冬季休業日(～1/10) 記録通知書質問受付(9:00～10:00)	15	土	
28	火		16	日	
29	水	閉庁日	17	月	職員研修
30	木	閉庁日	18	火	1年学年朝会
31	金	閉庁日	19	水	2・3年学年朝会
1/1	土	閉庁日	20	木	
2	日	閉庁日	21	金	受験直前指導
3	月	閉庁日	22	土	3年私立入試中心日
4	火		23	日	市長選挙
5	水		24	月	給食週間～29日まで 学力向上週間(～2/10)
6	木		25	火	
7	金		26	水	
8	土		27	木	
9	日		28	金	第4回PTA理事会
10	月	成人の日	29	土	埼玉県児童生徒美術展大里地区展覧会
11	火	3学期始業式 職員会議	30	日	第8回北辰テスト
12	水	給食開始日 3年実力テスト	31	月	性に関する講演会(3年)5校時

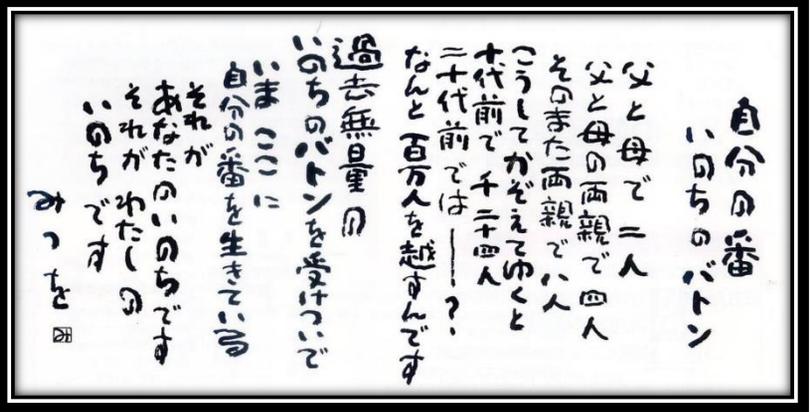


令和3年 2学期終業式の言葉

8月27日から始まった2学期はコロナ感染第5波の真ただ中、保護者、生徒、教員、みんなが不安な中でスタートになりました。ただ、幸いにも、この時期、上中の学校関係者からは感染者は1人も出ませんでした。これも、家庭、生徒、学校がワンチームになって、感染対策に取り組んだ成果だったと思います。本当にありがとうございました。その後、9月後半まで、午前中授業で、オンライン授業にも取り組みました。生徒達は、通常の授業が行えない厳しい中、大きなトラブルもなく、落ち着いて学校生活を送ってくれました。今学期は修学旅行を始め、みんなが楽しみにしていた音楽会、新人戦も中止、体育祭も学年別となり、張りのない学校生活の中で、ただただ学習に取り組むという忍耐と感染の不安と戦う日々になってしまいました。みんなには本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。でも、そんな中、みんなは腐らず、下を向かず、元気よく、明るく、様々な事に取り組んでくれました。学年別体育祭では、それぞれの学年がわずか2時間でしたが、笑顔でいっぱいになり、元気に仲間との交流を楽しめました。何より、救いだったのは本校伝統行事20Kハイイクが行えたこと。今年は沢尻翁の没後90年を記念し、青淵公園まで歩きました。例年より約3キロ長い道のりを、参加した480名の生徒、ほとんどが歩ききりました。強い風が吹く中、1人では歩けなかったかもしれない中、仲間同士で励まし合い、ワンチームになれたからこそできたという達成感を味わえたと思います。その後、運動部は新人戦の地区大会が行われ、それぞれの部が最後まで諦めず戦ってくれました。団体の部活が3つも決勝戦に進出、個人でも3つの部活動で優勝者が出ました。文化部もそれぞれの目標を定め、日々頑張っています。



さて、今日は、令和3年と今学期を締めくくり、もう一つ別の話をします。詩人の相田みつおさんの作品に、「自分の番 いのちのバトン」という詩があります。こんな詩です。



以前にも話しましたが、命がなぜ大切なのか、それは、今の命が受け継がれ、未来の命になるからです。私達は命のバトンを受け継いで、今を生きています。子供の命は親の命を未来に受け継いだもの、

親が生きてきた証です。命が命を生み、未来を創ります。体育祭のバトンリレーを想像してください。前の走者から受け取ったバトンを、ここまでバトンをつないでくれた仲間のために、自分のバトンを待っている次の走者に渡すため、必死に走ります。バトンは受け継がれてきた命であり、走る距離は自分の人生です。そう考えると、自分の命は、自分のものだけど、自分だけのものではありません。自分勝手に、命のバトンを断ち切ってはいけないということであり、だからこそ、命は大切なのです。今、私達が「生きている」ということは、地球が誕生した何十億年も前から受け継がれてきた命のおかげ、奇跡のようなもの、ただそれだけで凄いことなのです。今、世間では自分や他の人の命を粗末にする悲しい出来事が起きています。これは絶対に許せないことです。生きていれば、楽しいことばかりではなく、キツイこと、辛いこと、嫌なこと、悲しいこと、むしゃくしゃすること、誰もがそういうことを抱えて生きています。そういう全てを受け止めることが人生を生きるということなのです。ただ、それを一人で抱え込む必要はありません。みんなのそばには、相談できる優しい友人や親御さん、先生がいるはず。とにかく、声をあげてください。もう一度言います。今、みんなは、命のバトンを受け継いで、自分の番を生きているということを忘れないでください。少しぐらいの失敗や苦難に負けないで、みんなの次の代(みんなの子供達)にしっかりバトンをつなげられるよう、命を大切に、一所懸命生きてください。

最後に、今年の11月末に結婚した我が息子から、こんなものをもらったので、みなさんに紹介させていただきます。



子育て感謝状

父さん 母さん あなたの厳しさで 私は強くなれました
あなたの笑顔が 私に優しさを教えてくれました
父さん 母さん 今 二人から深い愛を
受けていたことを感じます

昔から たくさん困らせてごめんなさい
でも たくさん幸せをくれてありがとう
二人の偉大な愛に感謝を込めて この感謝状を贈ります
雄志

私からの命のバトンのみごとを受け継いだ、我が子からの感動的な贈り物です。親として、当然、次への命のバトンリレーも楽しみにしています。

今年の冬休みも先行き不安な状況は変わりません。みんなの命や、周りの大切な人達の命を守るためにも、基本的な感染対策には気をつけながら、家で、家族と一緒に、静かで温かな正月を迎えてください。家族の一員としての役割も忘れないこと。良いお年を！とにかく先生達は、1月11日、元気なみんなに会えることを楽しみにしています。



令和3年『夢・志宣言』

12月17日(金)、各クラス代表生徒による『夢・志宣言』が実施されました。11月に行われたクラス別の夢・志宣言でクラス代表になった生徒達の発表です。さすが、どの生徒も、自信を持って、胸を張り、堂々とした態度で、自分の将来の夢について高らかに、語ってくれました。

<夢・志宣言次第>

1. 開会の言葉
2. 夢・志宣言(代表生徒14名)
3. ゲストによる講演 元ラグビー日本代表(現大阪体育大学ラグビー部 ヘッドコーチ)安藤栄次様
4. 学校長の言葉
5. 閉会の言葉

<夢・志宣言クラス代表者一覧>

- 1学年 1組 水梨さん「イラストレーター」 2組 張さん「大手企業社長」
3組 相良さん「公務員」 4組 矢島さん「バスガイド」
- 2学年 1組 高橋さん「ウエディングプランナー」 2組 宮島さん「保育士」
3組 田嶋さん「誰もが豊かになれるサポート」 4組 北原さん「女優」 5組 菅原さん「中学校教師」
- 3学年 1組 渋谷さん「AI 開発技術者」 2組 町田さん「医者」 3組 北島さん「動物関係の仕事」
4組 田村さん「建築家」 5組 本田さん「声優」



大切なのは、夢を持つことによって、今、何をすべきかが見えてくること。誰かのために、そして、世のため、人のために働きたいという意識を持つことで、人は一人では生きていけないということを自覚できます。自分で、自分の可能性を決めず、大きな夢を持ってください。『自分には無理だ。』そんな思いに負けないで！ 後半のゲストのスピーチはそんな思いに負けなかった、校長先生の教え子のお話です。

今回の講師の安藤栄次氏には、「ラグビーから学んだ事」というテーマで話をしてもらいました。安藤氏は、元ラグビー日本代表で、2007年のラグビーW杯フランス大会で日本代表として選出され、国の代表同士が戦うテストマッチにも13回出場した経験があります。(ただ残念ながらW杯本戦には、ケガのせいで出場が叶いませんでしたが)彼は中学でラグビーを始め(中学時代のラグビー部顧問は校長先生で、担任も中2、中3とやりました。)高校、大学、社会人と続ける中で、日本代表になりたいという夢を実現させました。でも、そんなに人並外れたすごい選手だったかという、そんなことはありません。足の速さも人並み、上背も普通か、どちらかと言えば小さい方、大学と社会人になってからは日本一になりましたが、高校は全国大会にも出場できず、中学時代は一回戦負けがほとんどでした。何より、W杯日本代表に選ばれながら、本戦の4、5日前にケガで、試合出場を断念せざるを得ないという、大きな挫折を味わった人です。



でも、だからこそ、校長先生は、彼に、中学生の前で話をしてもらいたいと思いました。彼は、まぎれもなく、最高の教え子の一人ですが、生まれながらにして人より多くの才に恵まれていたわけではありません。ただ、彼の名誉のために言っておくと、彼の良さは、素直で、実直、折れない心と律儀で、義理堅く、人から受けた恩は決して忘れない、そんな男でした。とにかく、苦しく、厳しい練習もよく耐えて努力し、勉強も、分からないながらも、よく出席し、あきらめずに頑張りました。だから、みんなから好かれ、応援される存在になっていきました。

以下が、彼の話の要約です。『ラグビーから学んだ事は大きく分けて、3つあります。まずは、**挑戦し続けることの大切さ**。2つ目は**努力すること(頑張ること)の大切さ**です。夢は逃げては行かない。逃げるとしたら、それは、自分があきらめて、夢から逃げる時です。夢に向かって、歩みを止めないこと。しっかり、一歩踏み出してほしい。努力とは目標を実現するために、心や身体を使ってつとめることです。努力して、頑張っている時は、苦しいけど、楽しく、嬉しいものです。そして、3つ目は**仲間の存在の大切さ**、**自分には大切な人がいるんだ**ということを教えられました。夢、叶って日本代表としてフランス W杯に行ったのに、ケガで帰国しなければいけない。そんな、辛くて、悲しい瞬間、「ラグビーなんてやめてしまいたい。」と思ったその時に、「自分には周りで支えてくれる、たくさんの方がいるんだ。」と、周りが助けてくれました。辛い時こそ、「大切な仲間がいるんだ。」と、また、「自分1人でラグビーをやっているわけではないんだ。」と気づかせてくれました。だから、今は、周りの人を笑顔にしたいと思って、ラグビーに関わっています。』、こんな話をしてくれました。



教え子である安藤氏がこんな立派な話をしてくれたので、不覚にも、校長先生は感極まって、最初の言葉が出てきませんでした。でも、ラグビーから彼が学んだ、この3つは、彼が言うから、説得力があります。そして、みんなには生きていく上での素晴らしいメッセージになると思います。彼や校長先生にとってのラグビーのように、人生における生きる目標というか、夢を、上柴中学生一人一人にも見つけてほしいと思います。

<最近の表彰一覧>

- ①本庄第一高等学校第30回中学生作品コンクール 書道の部 特選 1-3金澤さん 2-1松澤さん 2-3亀井さん 3-1中村さん
3-1用皆さん 3-3柴崎さん 3-3金澤さん 3-5並木さん
- ②深谷市児童生徒人権作文 入選 1-3牛久さん 優秀賞 1-3王さん ③U15県北部DC選手認定証(バスケット) 3-2茂木さん
- ④大里地区文集「けやき」特選 1-1中村さん 1-3菫沢さん 2-1小柳さん 2-4中島さん 3-1米沢さん 3-2田邊さん
- ⑤「税の作文」佳作 2-2田村さん ⑥「税の標語」熊谷間税会 優秀賞 3-1栗原さん
- ⑦「税の標語」関東信越間税会連合会会長賞 1-2細田さん
- ⑧新人兼県民総合スポーツ深谷市大会 陸上 2年100m女子3位 2-2石川さん
4×100mR 女子 2位 2-2石川さん 大澤さん 高柳さん 2-4北原さん
- ⑨第89回全国書画展覧会書の部 筆都大賞 2-3亀井さん ⑩深谷市環境ポスターコンテスト 入選 2-4山口さん
- ⑪令和3年度埼玉県歯・口の健康啓発標語コンクール 入賞 1-4田畑さん
- ⑫深谷市人権啓発ポスター 入選 1-4平井さん ⑬令和3年度防犯ポスターコンクール 3-1用皆さん
- ⑭埼玉150周年記念小中学生未来予想絵画コンクール 知事賞 3-1用皆さん